

## 「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

## ＜本年度の学力向上基本方針＞

自ら学び、心豊かでたくましい児童の育成

・進んで考える子

確かな学力づくりと考える力の育成

…主体的に学ぶ姿勢、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力

## ＜本年度の学力向上策＞

1 「おもしろい授業」 への継続的な挑戦

① 「木崎小授業力向上プラン」「よい授業4つの因子」に示された授業改善の視点と方法に沿って、自己評価やOJT(On the Job Training)を実施する。

② 身に付けさせたい資質・能力の明確化を図る。

③ 学校課題研究の成果の共有をはかり、アクティブラーニングの視点からの授業改善を行う。

④ 「学力・学習状況調査」を活用し、本校の児童の得意な点、不得意な点をはっきりさせて、指導に生かす。

⑤ 家庭学習と学校学習が連続したものになるよう、検討を進める。

2 ユニバーサルデザインによる学習環境の整備と指導方法の改善

① 刺激量の調整、学習ルールの明確化、子ども同士の相互理解など、学習環境の整備を図る。

② 見通しをもたせる、わかりやすく伝える、参加型の学習、授業内容の構造化など、指導法の改善を図る。

## ＜本年度の振り返り＞

・全教員がOJTを実施し、校長による指導・助言を行い、授業力の向上を図ることができた。

・アクティブ・ラーニングの視点から授業の改善を図り、「深い学び」に焦点化して授業を実践・分析することで「深い学び」につながるいくつかの手立てを明らかにすることができた。

・全教室で黒板上部の掲示の統一を図るとともに、と黒板横の掲示板を隠すカーテンを設置することで、刺激量の調整を図ることができた。